

# 熊本県議会議員

# 高島和男

## 県政広報誌

震災お見舞い申し上げます。この度の『平成28年 熊本地震』によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

### 復活へ



地震はそれまでの私たちの平穏な、普通の、当たり前の日常生活が自然災害の前ではいかに脆く、そしてその生活を取り戻すことがどれだけ大変か痛感させられました。阪神淡路、東日本大震災…べし「アターから映されるあちこちで火の手が上がる光景や、黒い濁流が全てを飲み込んでいく悲惨な映像を私たちは幾度となく目にしました。しかし私自身今から思うと心のどこかで『他人事』と思つていました。そしてまさか熊本に住む私たちが震災の当事者になるとは想像もしていませんでした。

被災を受けた方々と直接会つて話を聞き、直面する問題や課題を整理して関係機関に伝え一刻も早く解決すること。それでもう一つは情報が錯綜している中で、県はじめ自治体が持つ最新かつ正確な情報をいち早く被災された皆さんに届けることであつた。正解を解消することでした。

発災から3ヶ月以上が経過した今日、第一弾としての電気、ガス、水道等のライフラインの復旧といつた応急処置を終えて、現在は第2弾の個々の生活や事業の再建の途上にあります。

私も発災と同時に地域、避難所、企業、医療・福祉施設…を廻りました。廻る中で私は常に2つのことを念頭に置いて取り組みました。月末を目処に県が策定する「復

旧・復興」で3年後、5年後、あるいは10年後の熊本の将来の姿を描き、進むべき道筋を県民に提示して理解、納得してもらう必要があります。しかしその道筋は決して平坦ではなく、それどころかこれからも新しい課題が次々と立ちはだかることがあります。

古来 我が国は地政学上、幾多の災害を経験してきました。熊本県も地震、津波、火

山噴火、台風、豪雨水害といた自然災害と向き合い、創造的復興を目指す③「復旧・創生・復興」3原則」として①被災者の痛みを最小化する②災者の痛みを最小化する③復興を熊本のさらなる発展につなげていくと宣言されました。同時に県議会は6月定期会で道路や河川等のインフラの復旧、仮設住宅の確保、人を解消することでした。

蒲島知事は発災後「復旧・復興」3原則として①被災者の痛みを最小化する②災者の痛みを最小化する③復興を熊本のさらなる発展につなげていくと宣言されました。先人はその都度「壊滅的」と云われながらも災禍を乗り越え貴重な財産を現代の私たちに残してくれました。人が嘗々と築き、守り、伝えてきた「くまもと」を再び輝かせ、より進化させて次の世代にバトンを渡すことが今までに生きる私たちに課せられた責務です。私、高島和男はこのことを肝に銘じて県議会議員としての職務に全力を尽くします。

# 届けます。あなたの声を県政に

益城町や南阿蘇村は勿論ですが、熊本市においても城南、富合町をはじめ、局地的に甚大な被害がありました。即対応が出来たものもあれば今後長期的な視点で取り組まなければならないものもあります。

地域の声をしっかりと受け止めてまいります!!

## 良町から

日本は地震大国と言われているが、まさか熊本のような地震が起きるとは誰が思ったでしょうか。

しかし、現実にそれぞれの地域で人的・物的、想像を絶する甚大な被害が生じました。今回その中で良町地区で発生した被害の一部を紹介します。

近所の知人から旧天明新川、県道浜線、中の瀬近くの餅溝橋の上下流両岸約200メートルに渡り堤防近くに地割れが発生しているとの情報があり、その知人と現地に足を運ぶと幾重にも地割れした状況を目の当たりにしました。

この現状は自分一人ではどうしようもないと判断し、早速地元選出の高島和男県議に連絡、翌日雨が降りしきる中、地割れした現状を視察してもらいその翌日には市西部土木センター、地元自治会、農区長、地権者と共に画図校区からも集まっていただき現地立会し、雨季と田植



野田たけし代議士と近見町の液状化視察

えの時期を目前にひかえていることから応急復旧工事をお願いしました。おかげ様ですぐに工事に取り掛かっていただき無事田植えも終えた次第です。

これからも地域の安全確保を地域の方々と頑張っていきたいと思います。

田迎南校区第四町内自治会 宮本 雄治



4月22日 現地視察

## 富合町から

4月16日の本震発災直後、榎津区民より「区長、浜戸川堤防に亀裂が縦横にいっぱい入つた」と連絡を受け、早速現地を確認したところ、これは非常事態であると判断し、先ず県土木部に現地調査の要請をし、引き続き高島県議に現場視察の依頼をしました。高島県議は直ぐに駆けつけていただき現場から県土木部に対応を指示してもらいました。その後、5月11日榎津公民館において高島県議、朽木市議、榎津区民の出席のもと県土木部より緊急工事の方法等についての説明会が開催され、5月末に榎津堰橋より第2才木橋の区間の堤防突貫工事が完成しました。

6月20日の猛烈な雨の中、浜戸川の堤防が持ちこたえてくれまして榎津区民はほっと胸を撫で下ろしております。この度は高島県議はじめ関係各位に大変お世話になりました。衷心より御礼を申し上げます。

富合校区榎津区自治会々長 海平 正俊



5月11日 説明会

# 「グループ補助金」中小企業の再建を後押し！

熊本地震で被災した中小企業への支援策として熊本県は「中小企業等グループ補助金」を制度化しました。

被災した中小企業などが2社以上のグループをつくって復興事業計画を作成し、県の認定を受けると、施設、設備の復旧などにかかる費用の最大で4分の3が補助されます。

熊本県は商工会議所、商工会等と連携して制度の活用を促進し熊本の経済・雇用の早期回復を図っていきます。

## 1. 補助対象者・補助率

①中小企業者 ※みなし大企業・みなし中堅企業を除く

【補助率：3/4以内】

②中堅企業及びみなし中堅企業等 ※みなし大企業を除く

【補助率：1/2以内】

③大企業及びみなし大企業で、①又は②が事業活動を行う上で必要な施設・設備を貸付している事業者

【補助率：1/2以内】

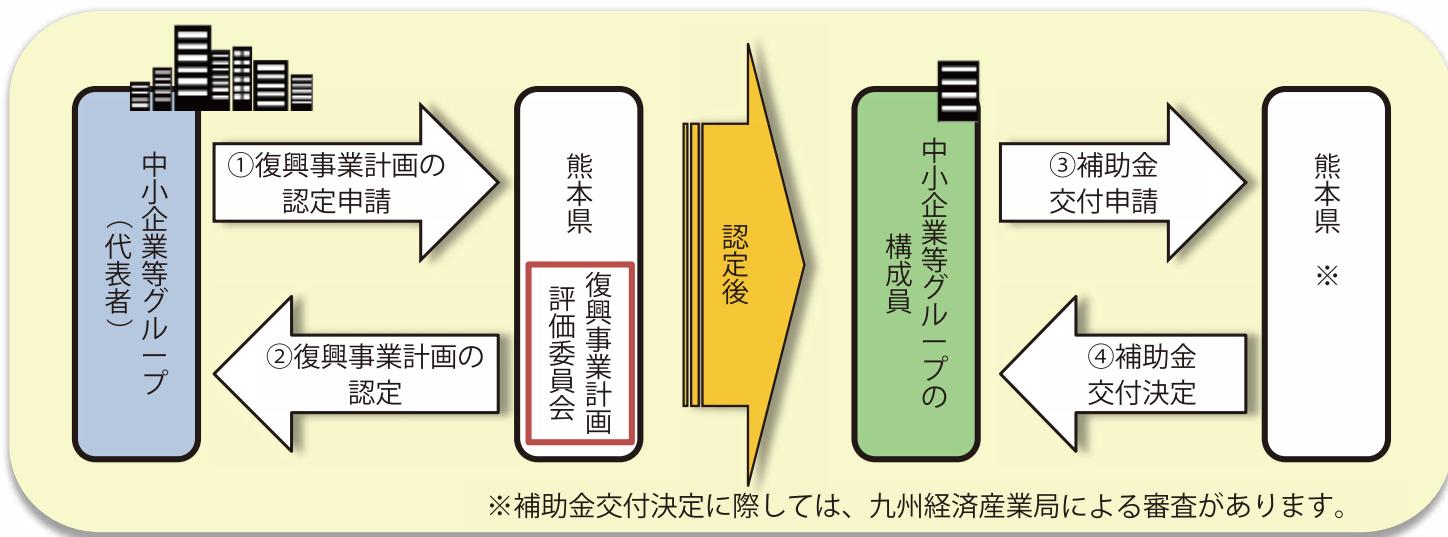
## 2. 補助対象経費

施設・設備の復旧に要する施設費、設備費、工事費等

## 3. 補助金の限度額

1業者あたり 15億

## 4. 事業の流れ



## 5. 応募の方法

公募開始：平成28年6月20日（月）

1次締切：平成28年7月22日（金）午後5時15分

2次締切：平成28年8月26日（金）午後5時15分

※応募の詳細については、熊本県ホームページをご覧ください。

熊本県 グループ補助金

検索

## 6. お問合せ先

詳しくは 熊本県 商工観光労働部 作業チーム

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

# 地震直後の高島和男ブログより

熊本地震 2016/04/15

生きた心地がしませんでした…。正直阪神大震災、東日本大震災、南海トラフ…「熊本県は地震は無縁…」心のどこかで思っていました。ところが昨夜突如地響きがしたあと激しい揺れに襲われました。食器棚から食器が落ちて割れる音、柱や壁がきしむ音、30秒が本当に長く感じられました。その後も余震とは思えない激しい揺れが断続的に続き、とうとう朝まで一睡もできませんでした。昨夜のうちに今日の大まかなスケジュールを組み立て早朝から早速行動を開始しました。気になる方の訪問、小中学校に行き昨夜の状況、そして現状を確認したのでした。停電もあつたせいか、予想を遥かに超える多くの皆さんのが小中学校の体育館や運動場で一夜を過ごされていました。屋根の軒や瓦が落ちたり、ブロック塀やご覧のような石垣が無残に崩れ落ちたりとあちこちで甚大な被害が生じています。先ず今日の私がすべき事は顔を見て話を聞き安心していただくことです。



熊本地震 2 2016/04/16

1時25分…再び「ゴー」という地響きと共に激しい揺れが襲いました。一旦収まったと思いつきや大小の揺れを繰り返しながら数時間続きました。時を同じくして地元の医療・福祉施設から相談の電話が鳴り出しました。内容は停電の一時も早い復旧、それに食料、水分の補給等です。早速九電、自治体に連絡して対応をお願いしたのでした。夜が明けはじめ少しづつ明るくなってから避難されている地元の小中学校や公民館を廻りました。体育館、運動場ともに昨日以上の住民がたくさん避難されています。校長や地域の代表と話をして要望を聞き一刻も早く課題を解消すべく全力で取り組んでいます。詳細を記することは出来ませんが時の経過とともに向き合う問題も変化しています。こうなるとそろそろ降り出す雨を含めて次に起こることをあらかじめ想定して対処することが必要です。



## 高島議員のもとでのインターン活動報告

議員インターシップとは、主に大学生の長期休暇期間中、議員と行動を共にすることで実体験を伴う研修を通じて政治に関する理解と関心を高めようとするものです。普段できない貴重な体験をする機会が得られるのが一番のメリットですが、その他にも様々なメリットがあるため学生達の関心も高まっています。

### 私にとって議員インターンシップとは

自分にとって高島議員のもとでのインターン活動は出会いの連続でした。自分自身今回のインターンで成長が多かったとともに政治に関わり興味、関心を向ける良いきっかけとなりました。議員インターンシップでは県庁で議会傍聴を行ったり、知事選の選挙活動に同行し間近で選挙の様子、その裏側など普段ではとても目にできないものを見てきてとても貴重な経験の数々であった。その中で議員インターンシップにおいていくつもの出会いがありました。その出会い全ては自分を大きく成長させるものでインターンの時間全てむだにすることは全くありませんでした。そのような経験を経て議員インターンを終えた今始まる前とは違う新たな自分に出会うことができました。さらに、それらを伸ばしていくことでまたひと回り成長した自分へとつなげていけるようにしたいと思います。

熊本学園大学 社会福祉学部2年 船辺 淳



### 私が目についた高島議員の想い

私のインターンシップの受け入れ先である高島和男県議会議員は、熊本をよりよくするために考え方行動し、人とのつながりを大切にする方でした。また、私たちのどんな質問に対しても丁寧に答えていただき、政治に関することだけでなく時間の使い方、人脈の大切さなど多くのことを教えていただきました。人とのつながりに関しては、地域の方の言葉に真摯に向き合い、高島議員を支援している企業や団体の挨拶周りを欠かさないように心から応援したいと思う関係づくりを常日頃から作っていくことが大切だと学びました。また、高島議員が熊本県又地域の方の心強い支えになっているとともに高島議員のご家族を始め、秘書や支持者の方など多くの方々から支えられながら今の高島議員があることを感じました。

熊本大学法学部2年 湊 康輔



れいすい杯ミニバレーボール大会の  
開催は8月中に決定します。  
高島和男のホームページをご覧下さい。

## 高島和男事務所

〒862-0962 熊本市南区田迎2-17-7  
TEL.096-288-6004 / FAX.096-288-6009  
ホームページでは、写真付日記を毎日更新！  
<http://takashima-kazuo.com/> Facebookもやってます！

